特集 次世代につなぐ 平和への思い

戦後71年が経過し、戦争という事実が風化しつつあります。年々、戦争を体験した人が少なくなる中、戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを後世に伝えるための体験記『世界平和を願って 被爆70周年記念誌』の作成に携わったお二人に話を伺いました。

問秘書広報室☎32・2029

広島市での原子爆弾投下直後にできたキノコ雲
（撮影：米軍、写真提供：広島平和記念資料館）

悲惨な戦争を二度と繰り返さないために

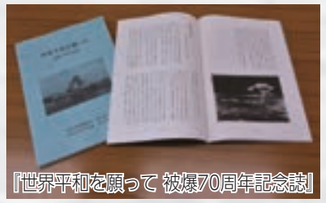
岡山県美作被爆二世の会
会長　木原 賢一さん（林田）

風化させたくない戦争の事実

被爆体験者が高齢化する中、「戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを後世に伝えていかなければ」という強い思いで、体験者から話を聞き、この記念誌を作りました。

体験者の中には「思い出したくない」と口を開こうとしない人や、当時の悲惨な状況がよみがえって声を詰まらせたり涙を流したりする人もいました。

この記念誌には「もう二度と戦争をしてはいけない」というメッセージが込められています。「次世代を担う子どもたちや多くの皆さんに読んでもらいたい」と思い、市内の小中学校や高等学校、大学、図書館に寄贈しました。過去の事実を知ってもらい、これからの日本のあり方や未来の平和について考える機会となればと思います。



『世界平和を願って 被爆70周年記念誌』

被爆した父がわたしに語ったこと

当時、広島に住んでいた父は、8月6日の朝、食事を取ろうと箸を持った瞬間、原子爆弾が投下され、意識を無くしました。幸い、仲間に助け出されて野戦病院に収容されましたが、左耳の下に刺さっていた窓ガラスの破片を抜き取る際に動脈が切れ、大量出血して危篤状態が続きました。その後、津山に帰ってからも原因不明の高熱が続き、生死をさまよったそうです。

父は「何度も救われたこの命を大切に生きてきた。おまえも命を大切にしてほしい」とよく語っていました。

父の思いを引き継いで

父たちが中心となって始めた「津山市民平和祭」は、今年で30年目を迎えます。父は平成20年に亡くなりましたが、縁あって、わたしも6年前からその責任者として参加しています。情熱を持って活動していた父の様子を、ずっと一緒に活動してきたメンバーから聞くと、心に熱いものがぐっと込み上げてきます。

再び悲惨な戦争を起こさないために、平和の大切さや命の尊さを伝えていくことに力を注いでいきたいです。

広島で見たものは、この世の地獄だった

岡山県原爆被爆者会津山支部
支部長　山本 弘さん（里公文）

今も思い出す悲惨な光景

昭和20年6月、わたしは広島の139部隊に入隊し、新しく編成された自動車隊に配属され、山口県で実践訓練をしていました。

8月6日の朝、中隊長から「今朝8時ごろ、部隊本部がある広島にアメリカが新型爆弾を落とし、広島が全滅した。至急、部隊本部に戻って救援作業に当たれ」と命令があり、急いで広島に向かいました。

広島に到着すると、一面焼け野原で、何とも言えない悪臭が漂っていました。焼けた服が皮膚にくっ付くほど、ひどいやけどをしているけが人たちを臨時の救護所へ運びました。救護所は、けが人で溢れ返り「痛い」「苦しい」「水を飲ませて」という何度も繰り返される悲痛な叫びに、心が締め付けられるようなやるせない気持ちになりました。

そのうち、目の前で次々とけが人が死んでいく状況と、死体から発生する悪臭などにより、水しか喉を通らなくなり、やがて高熱と激しい下痢で体調を崩しました。仲間たちも次々に体調が悪くなっていきました。そのような状況の中でも、ミイラのようになった死体や破れた腹の中でウジ虫が動いている死体を、バラバラにならないようにそっとトタン板に乗せて、臨時の火葬場へ運ぶ作業を続けました。

焼け野原となった広島市内（撮影：林 重男氏、写真提供：広島平和記念資料館）

71年が経った今でも、あの時の光景が脳裏に焼き付いていて、決して忘れることができません。

二度と戦争をしてほしくない

原爆による被害は想像を絶するもので、多くの人たちの人生を一変させてしまうものでした。一瞬にして広島や長崎で多くの人が亡くなり、生き残った人もその後、白血病やがんなどの後遺症に苦しみ、病気と闘いながら生きてきました。また、原爆の被爆者ということで差別を受け、苦しんだ人も多くいました。戦争は憎しみしか生まず、何の罪もない人も多く犠牲になります。核兵器や戦争が無く、世界中の人が平和に暮らせる世の中になることが、わたしたちの願いです。

これからもわたしたちは、戦争や原爆の恐ろしさと、平和の大切さを次世代に伝えていきたいと思います。

加茂中学校での平和学習

第30回津山市民平和祭

■平和パネル展

とき　8月1日(月)～7日(日)
※オープニング・セレモニー＝8月1日(月)午前9時～
ところ　8月1日(月)～5日(金)＝市役所1階市民ロビー、8月6日(土)～7日(日)＝市立図書館前ギャラリー（アルネ・津山4階）
内容　平和に関する写真パネルや資料の展示など

■あさのあつこさんと語る平和のつどい

平和で戦争が無い世界の実現に向けて語り合います。

とき　8月7日(日)午後1時30分～
ところ　グリーンヒルズ津山リージョンセンター（大田）
ゲスト　あさのあつこさん（作家）
参加費　無料（申し込み不要）

■夏休み親子体験平和バスツアー

とき　8月27日(土)午前7時30分出発
ところ　市役所東側駐車場集合
行き先　広島平和記念資料館（広島市）
定員　40人（先着順）
参加費　高校生以上＝1500円、小・中学生＝1000円
申込方法　電話、ファクスまたは直接申し込む
締め切り　8月10日(水)
※詳しくは、お問い合わせください
問人権啓発課（アルネ・津山5階）
☎31・0088、FAX31・2534